

公報

○大政官布達第五號

明治十五年(十二月)第六拾號布告ハ勸解又ハ刑事告訴中ナルヲ以テ及ニ廢止申立ル者アル場合ニモ適用スヘキモノトス

右布達傳事

明治十七年三月十七日

大政大臣三浦實美 内務卿山縣有朋

時事新報

日本ト米國トハ隣國同土ナリ

今チ距ルコト三十年ノ昔米國ノ水師提督ペルリ本國政府ノ使命ヲ奉リテ日本ニ渡來シ書ヲ德川政府ニ致シテ曰ク我北亞米利加合衆國ト貴國トハ大洋洋ヲ隔テ、東西ニ對峙スル隣國ナリ大洋洋ノ水甚ク廣キガ如シト雖モ我國發明ノ蒸氣船ナルモノニ據リテコレヲ横ギレバ合衆國ノ西海岸カリフォルニア州ヲ發シテ日本江戶灣ニ來着スルコトハ十八晝夜ヲ費スニ過ズ近密ノ隣國ニシテ貿易往來相親マザルノ理ナキナリトコレヲ聞ク當時ノ日本人ニシテ米國ノ近キニ驚カザルモノナシ果シテペルリ氏ノ言ノ如クハ米國ノ遠キニモ江戶大坂ノ相隔タルニ異ナラズ去リトテハ又餘リノ事ナリトコレヲ信スル人々ハ少ナカリシ然ルニペルリ氏我チ歐カザルノミナラズ今月今日ノ太平洋渡航ハ十八日ハ減シテ十五六日ト爲リ偶々被華ノ快走船ハ十三四日位ニテ渡航セタルノ例ナキニアラス如ク進步ノ急速ナルハペルリ氏自カラト雖モ決シテコレヲ豫期セザリシナルモ今當今後月ヨリ改進シ米亞大陸ノ間ニ在ル此大洋洋ノ商務漸ク繁昌シテ彼ノ歐米大陸ノ間ニ在ル大洋洋ノ商務ト肩ヲ比スルニ至ルコトアラハ瀛海ノ駛走モ今日ニ幾倍ノ速力ヲ増シ横濱長崎間ノ航海モ十日内外ノ日子ヲ費スニ過キザルコト爲ルベキヤ我輩ノ豫期ニ違ハザルベシ

カムサツカノ岡平島ヲ經テ日本北海道ニ達スルモノヲ第一案トシ桑港ヲ發シテヤンドウィツナニ島ニ至リ是ヨリ二線ニ分レ一ハ西北日本ニ達シ一ハ西南澳斯太利刺洲ニ達スルモノヲ第二案トス第一ノ方ハ線路モ短ク費用モ少ナシト雖トモ隨テ其便益廣大ナラズ第二ノ方ハ其便益固ヨリ廣大ナリト雖トモ隨テ其費用大ニ嵩ミ資金募集ニ便ナラズ二者何レニ決スベキハ尙ホ考案中ナリトナリ然レモ現時ノ如ク亞細亞東部ト米國トノ間ニ電信ヲ往復スルニ歐洲ヲ迂回スルノ不便不經濟ハ甚ク顯著ナルモノニシテ逆モ水クハ辛抱ヲ得ザル事柄ナラン殊ニバキヤ運河開通シテ米亞ノ貿易忽チ隆盛ノ日ニ際シ尙ホ今ノ不便ニ安ズベシト云フハ蓋シ人間ノ耐忍力ニ望ムベカラザル難問題ナラン故ニ我輩ハ前記二案中其孰レニ決定スベキヤハ今日ニ明知スルコト能ハズト雖モ太平洋海底電線ノ竣功ヲ見ルハ今チ距ルコト決シテ遠カラザルモノト信ズルナリ

○西郷參議 同君には病氣療養の爲め去十五日豆州熱海温泉へ入浴赴きたりと
○師範學校巡視 大木文部卿は昨日午前十時三十分頃より久保田權大書記官、中川秘書官と隨へ東京師範學校と巡視したり
○九鬼文部少輔 同少輔は去る十四日佐賀縣に若し翌日より高神崎邊を巡視する旨其筋へ電報ありたりと
○高島陸軍中將の一行 同中將は大坂滞在中病氣罹り九州地方出發を見合せたる由書本紙上に掲載せしが其後病氣平癒し去る十三日大坂を發し翌十四日神戸より瀨船熊本丸に搭じ熊本へ向け出發したりと
○出發 島内務省三等出仕の岩手縣令奉職中事務引繼のため一昨日同縣へ向け出發、札幌鐵道事務所長農商務大臣長山内院實氏は御用濟に付去る十五日任地へ向け出發したり
○兵部局長 義に養病のため豆州熱海へ赴きし兵部局長海軍大佐末川久敬氏は去る十四日造所長海軍中佐池田貞實氏の歸京 熱海へ入浴中なりしと
○福田重國氏 過日の紙上に權大書記官は屬官二名電信技師國へ赴くといふ
○警保局改革 今度内務省警保從來の各課之悉皆廢し更ニ會計、受付、調査、編纂の諸掛きて新聞檢閲の事と取扱はしし内局別房を同局長室とあし其上層の嚴密と加へたり且又翌月曜日檢閲する例ありし率掛長の自宅へ差廻す事とな
○海軍醫官採用 海軍省にて開業免狀所持し英語に通じと云ふ
○官舎増築 和田倉門内ある練の官舎を増築して事務室、近日其工事に着手するよし
○軍艦出入 去る十三日釜山艦は翌十四日該港へ着し、英戸より去る十三日午後三時三十分英國軍艦 英國は從來海軍高かし居りしが近年他の歐洲に就き同時に其數を増し水りしが故に海軍の實力は或く衰説ありしが英國にても亦爾此長及び新造と忘るる頃日も同を船卸したるが其軍艦は渾て比にて八千馬力七千三百噸の
○演習 教導團歩兵大隊生徒を賦遣團習志野原に於て野營を敷し筒式機關槍路東京を經兵操典第二部、前哨勤務、偵察行する等なり但し行軍の習熟田原、江ノ島を經て歸京す又拾遺名は本月下旬より三週間砲床設置法、破發彈射的、榴霰射、電燈布陣、土工作業等の演習、海員及婦 去る十四日農商務大臣試験を受けたる野間縣平民岩及第したり
○農商務 官城縣に於ては去

電報

○三月十四日龍動發 生糸市場之靜謐あり

雜報

○西郷參議 同君には病氣療養の爲め去十五日豆州熱海温泉へ入浴赴きたりと
○師範學校巡視 大木文部卿は昨日午前十時三十分頃より久保田權大書記官、中川秘書官と隨へ東京師範學校と巡視したり
○九鬼文部少輔 同少輔は去る十四日佐賀縣に若し翌日より高神崎邊を巡視する旨其筋へ電報ありたりと
○高島陸軍中將の一行 同中將は大坂滞在中病氣罹り九州地方出發を見合せたる由書本紙上に掲載せしが其後病氣平癒し去る十三日大坂を發し翌十四日神戸より瀨船熊本丸に搭じ熊本へ向け出發したりと
○出發 島内務省三等出仕の岩手縣令奉職中事務引繼のため一昨日同縣へ向け出發、札幌鐵道事務所長農商務大臣長山内院實氏は御用濟に付去る十五日任地へ向け出發したり
○兵部局長 義に養病のため豆州熱海へ赴きし兵部局長海